

あきたふるさと学講座「仙北キャンパス」スタート！

7月27日（土）に、仙北キャンパス「北浦ふるさと眺望」が仙北市角館交流センターを会場にスタートしました。

午前は秋田県立大学の高橋秀晴教授を講師に、「田沢湖と文学～文学の舞台としての田沢湖～」というテーマで講座が行われました。

その中で高橋教授は『田沢湖物語』を題材に、最近話題になっている幻の魚「クニマス」にも触れながら辰子伝説について話されました。伝説の中で登場する「キノシリマス（木の尻鱒）」が、クニマスであることは、地元の受講者でも知っている人は少なく、高橋教授は意外そうな様子でした。

また、高橋教授は『桃太郎』や『浦島太郎』といった昔話にも触れ、独自の切り口から物語を読み解き、受講者の関心を誘っていました。

午後は、かくのだて歴史案内人組合の戸沢嗣郎氏を講師に、「角館の戊辰戦争」と題する講座が行われました。

戸沢氏が用意した資料は、見ているだけでも当時の歴史を垣間見ることができそうなほど多種多様でした。戸沢氏は壁に貼られた地図を指しながら戊辰戦争の経緯と角館戦でのエピソードについて、ユーモアを交えて話され、受講者は、まるで講談のような戸沢氏の語り口にぐんぐん引き込まれていきました。

両講座に対して受講者からは「辰子伝説と他の昔話との類似点が面白かった」「幼い頃に聞いていた戊辰戦争の話がより具体的にわかった」といった感想が寄せられました。



高橋教授による講座の様子



地図をもとに戊辰戦争について語る戸沢氏

徳川林政史研究所による公開講座のお知らせです！

徳川林政史研究所の主催で、県公文書館と県生涯学習センターの共催による公開講座「改革の幕開け～村と山の復興と秋田藩政～」が、10月12日（土）午後1時30分から生涯学習センター3階の講堂で開催されます。受講料は無料です。ぜひご参加ください。

あきたふるさと学講座「北方史の中で秋田を考える」スタート！

8月3日（土）に、あきたふるさと学講座「北方史の中で秋田を考える」が生涯学習センターを会場にスタートしました。

ふるさと秋田と北方社会との関わりを考えながら、広い視野で郷土をとらえ、北からの日本史を学ぶことを趣旨として、全8回シリーズでお届けします。

第1回は弘前大学の齊藤利男教授を講師に迎え、「奥州藤原氏と北奥羽世界～北方の地に根ざしたアイデンティティ～」と題して行われ、140名を超える受講者が熱心に聞き入っていました。

その中で齊藤教授は、世界文化遺産に登録された平泉を舞台に、日本の中の奥州平泉という立場ではなく、「半独立国家」としての奥州藤原氏の盛衰について豊富な資料をもとに説明されました。

受講者からは「奥州平泉の北奥羽の国づくりの偉大な考えに感動しました」「奥州藤原氏への考え方が変わった」といった感想が寄せられました。

今後は蝦夷地（北海道）との関係や女性の視点からみた江戸時代などをテーマに開催する予定です。受講料は1コマ400円です。皆さんの受講をお待ちしております。



140名を超える受講者が集まった第1回の講座



奥州藤原氏について説明する弘前大学の齊藤教授

連携講座「新鮮！アーカイブズ」のお知らせです！

県公文書館との連携による講座「新鮮！アーカイブズ」が、10月17日（木）にスタートします。これは歴史資料を通して、資料の利用方法や保存活動についての理解を深める講座で、毎回古文書や公文書のスペシャリストが講師となって秋田の歴史を資料からひもといていきます。

全4回シリーズで受講料は無料です。歴史資料や公文書館の活動について興味のある方はぜひ受講してください！

「新鮮！アーカイブズ」

- ①10月17日（木）「秋田県庁文書に見る近代国家形成の過程」 講師：秋田県公文書館主幹 畑田 正樹 氏
 - ②10月24日（木）「公文書館所蔵の近世絵図」 講師：秋田県公文書館主任学芸主事 太田 研 氏
 - ③11月7日（木）「公文書館所蔵文化財展をみる」
講師：秋田県公文書館副主幹 柴田 知彰 氏・同学芸主事 鍋島 真 氏
 - ④11月14日（木）「秋田藩家老の日記にみる元禄期と幕末期の秋田の諸相」 講師：生涯学習センター副主幹 佐藤 隆
- ※ 詳細については、県生涯学習センターまでお問い合わせください。

TEL 018-865-1171

FAX 018-824-1799